

ただちに国会を解散して、国民の信を問え 応能負担で社会保障の拡充を！

ほっかいどうの社会保障

2012年9月11日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

道社保学校まであと20日

誘い合って参加しましょう！

申し込みは18日、早めに申し込みお願いします。当日参加もOK

9月30日(日)に旭川で行われる北海道社会保障学校まであと20日となりました。旭川をはじめ各地で参加者の組織を広げています。旭川では、民商が50名の参加目標をもって取り組んでいるのははじめ、各団体も参加費の補助なども決めています。

記念講演が「貧困問題」でもあるため、旭川大学の社会福祉学部の教授や学生、旭川医大の学生、福祉事務所の職員などへも参加を呼びかけています。(「ネットカフェ難民」は講師の水島宏明さんが造った言葉です)

また、札幌社保協でも参加費の一部を補助することを決めています。



「ネットカフェ難民」の名付け親の水島宏明さん

解散して国民の信を問え！ 「社会保障・税一体改革」を撤回させ、社会保障の拡充を

通常国会が閉会しましたが、「野田内閣やめろ」「衆議院を解散して国民の信を問え！」の世論と運動を広げましょう。「社会保障・税一体改革」を学習し、社会保障を拡充させる取り組みを広げましょう。

10月25日(木)夕には、札幌エルプラザホールで、渡辺治氏を迎えて、学習決起集会も計画しています。

今週の宣伝行動は 13日(木) 12:15～ 紀伊国屋札幌本店周辺です

保育の拡充めざし、新署名目標は20万筆 「9.8秋の運動スタート集会」



9月8日、どの子にもよりよい保育を！北海道実行委員会が「秋の運動スタート集会」を行いました。札幌市内近郊をはじめ旭川や函館などから120人が参加しました。

全国保育団体連絡会の上野さと子副会長の講演では、「運動の広がり政府の改悪スケジュールを遅らせ、市町村の保育の義務(児童福祉法24条)を残させた。しかし、子ども・子育て支援法は問題

点が多く、子どもたちに幸せな『いま』を保障するために、改悪法を実施させず、保育の拡充めざしてさらに運動を広げましょう」と呼びかけました。集会では、新たな全国署名を道内で20万筆めざすなどの方針を確認し合いました。

利用者、事業者、労働者も深刻な実態明らかに！

道内で介護保険の影響を調査中

旭川では「介護110番」

4月以降の介護保険の制度や介護報酬の改定に伴って、利用者をはじめ事業所や労働者に深刻な影響が広がっています。「介護に笑顔を！道連絡会」は、道内の訪問介護や通所介護事業所(約2500件)、訪問看護事業所(約300件)にアンケートを送付しましたが、事業所から回答が届いています。「事業所収入が10%下がった」「生活援助時間が減って、買い物、掃除などに支障をきたしている。利用者やゆっくり話ができない」「通所介護の時間を延長したため、帰宅時間が夕食の時間に迫るため利用者に負担がかかっている」「(訪問看護)利用料が高くて制限している人が多い。看護師が集まらない」などの実態とともに、制度の改善を求める声が寄せられています。

また、医労連・福祉保育労などはヘルパーアンケートをはじめとしています。「訪問時間や回数が減って、給料が月10万円から8万5千円に減った」などの回答も。それぞれ、調査中ですが、調査は記者発表などもする予定です。

旭川社保協では、9月7日、「介護110番」も行い、労働者や住民の相談に答えました。

